

網走西部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合網走西部分会）
議事要旨

1. 日時令和3年3月4日（木）17：30～18：30

2. 場所網走西部森林管理署会議室

3. 出席者

網走西部森林管理署	勝占保	署長
	小笠原正樹	次長
	西間孝志	総括事務管理官
全国林野関連労働組合 網走西部分会	片桐勝美	委員長
	眞鍋利博	副委員長
	藤本拓	書記長
	寺崎政博	執行委員
	村田翼	執行委員

4. 交渉事項

事業実行等に係る勤務条件の確保について

5. 議事概要

当局）只今から、全国林野関連労働組合北海道地方本部網走西部分会より先般申し入れのあった交渉を始めさせていただく。あらかじめ予備交渉で、交渉時間、交渉項目等を整理していることから、それに基づき進行いただくようお願いする。

組合）令和3年度業務計画の策定にあたり、森林事務所、地区毎に事業量が偏らないよう適切な事業量に留意し、地林況調査についても残り期間・要員等を考慮し、対策を講じること。

当局）令和3年度業務計画は現在取りまとめ中ではあるが、地区ごとの事業の進捗状況を把握しつつ、現場からの要望等を踏まえながら、必要に応じ署からの応援も含め、一部の者に過度の負担が生じないようにを進めていく考え。

地林況調査については、新年度スタートにあたり手戻りの無いように、プロジェクトチームによる対象箇所等の見直しを行い、残期間で実行可能な体制を取ることにしたい。

組合）路網の維持修繕について、各種調査から森林整備までを安全かつ効率的に実施するために必要であることから、対策を講じること。

当局) 路網の維持修繕は、各種事業を安全かつ効率的に実施する上で不可欠と認識。
予算上の制約もあるが、資源の有効活用も見据えて必要な予算要求をしつつ、
計画的な維持・修繕を進める考え。

組合) 8ポストが空席であることから空席ポストを考慮した対策を講じること。

当局) 空席ポストへの対応については、当署は局内有数の事業量を抱えており、空
席ポストを解消し、事業量に見合った職員の配置を局に要望しているところ。
当面の対応は、各総括が中心となって各担当の業務状況を把握、署長の指導
の下、グループ制を有効に機能させ、一部の者に過度の負担が生じないよう進
める考え。
また、非常勤職員の確保の必要性を局に伝えていく。

組合) 森林事務所において人員減少による人手不足の実態があり、適正な監督業務
及び各種調査等を行うための対策を講じること。

当局) 非常勤職員の確保の必要性を局に伝えていくことと、危機感を持って人材発
掘を進める考え。
また、現場からの要望を踏まえ、署からの応援も含め、必要な体制を取る考
え。